

下野市の概要



■位置・地勢・気候

下野市は、関東平野の北部、栃木県の中南部に位置し、都心から85km圏にあり首都圏の一端を構成しています。南北約15.2km、東西約11.5kmで、北は県都宇都宮市、南は小山市、東は二宮町と上三川町、西は栃木市と壬生町に接し、面積は74.58km²です。

東に鬼怒川と田川、西に思川と姿川が流れ、高低差があまりなく古来より開けた平坦で安定した自然災害も少ない地域です。

JR宇都宮線の自治医大駅を中心にニュータウンによる新市街地が拡がり、日光街道沿いの小金井や石橋の旧宿場町とその周辺部の田園地帯とともに新市を形成しています。

気候は、年平均気温が約14℃、年平均降水量が約1,300mmであり、夏は高温多湿、冬は低温乾燥のやや内陸性を帯びた温暖な気候で、積雪は殆どなく、雷が比較的多いという特徴があります。

■交通

国道4号、国道新4号、国道352号、JR宇都宮線など、首都圏の中心部と東北地方を結ぶ大動脈が南北に通っています。東北自動車道の栃木インターチェンジまで約30分であり、近年は北関東自動車道の2つのインターチェンジ（壬生、宇都宮上三川）の開通により交通の利便性が増しています。また、小金井駅と自治医大駅、石橋駅の3つの駅を有するJR宇都宮線で、都心まで快速で約70分の通勤圏であり、小山から新幹線利用で約40分の近距離にあります。

■人口と世帯数

下野市の人口は59,655人（平成18年1月1日現在）で、平成12年の国勢調査による人口57,447人に対し2,208人（3.8%）の増加となり、県内でも上位の増加率を示しています。

また、世帯数は20,188世帯で、平成12年の17,901世帯に対し2,287世帯（12.8%）の増加となり、人口の増加率を大きく上回っています。

まちづくりの目標

将来像

思いやりと交流で創る
新生文化都市

基本目標

都市と田園が共生する
快適な環境で躍進するまちづくり

安心して暮らせる
健康で明るいまちづくり

みんなで学び文化を育む
ふれあいのまちづくり

豊かな自然と調和した
快適で安全なまちづくり

知恵と意欲で
創造性豊かなまちづくり

住民と行政の協働による
健全なまちづくり

下野市の市章

下野市の「下」の文字をモチーフに、豊かな自然環境とともに健康で明るい都市の発展する姿を表現しています。中央の赤は新たな文化の創造と安全、安心な未来を象徴しています。



東京都町田市在住

彦根 正 さんによるデザイン